



2026年3月期 第3四半期
決算説明資料

2026年2月10日



証券コード：7183

1 決算概要



保証事業の堅実な伸長により営業収益は前年同期比114.5%と増加。

営業費用は保証件数拡大に伴い、支払手数料、貸倒関連費用等が増加となったものの、業務効率化とコスト削減の取り組みにより営業利益、経常利益は前年同期を上回って推移。

(単位：百万円)

2025年3月期
第3四半期

2026年3月期
第3四半期

前年同期比

2026年3月期
計画

営業収益

3,977

4,552

114.5%

6,095

営業費用

3,758

4,275

113.7%

5,975

営業利益

218

277

126.8%

120

経常利益

307

398

129.8%

250

純利益


199

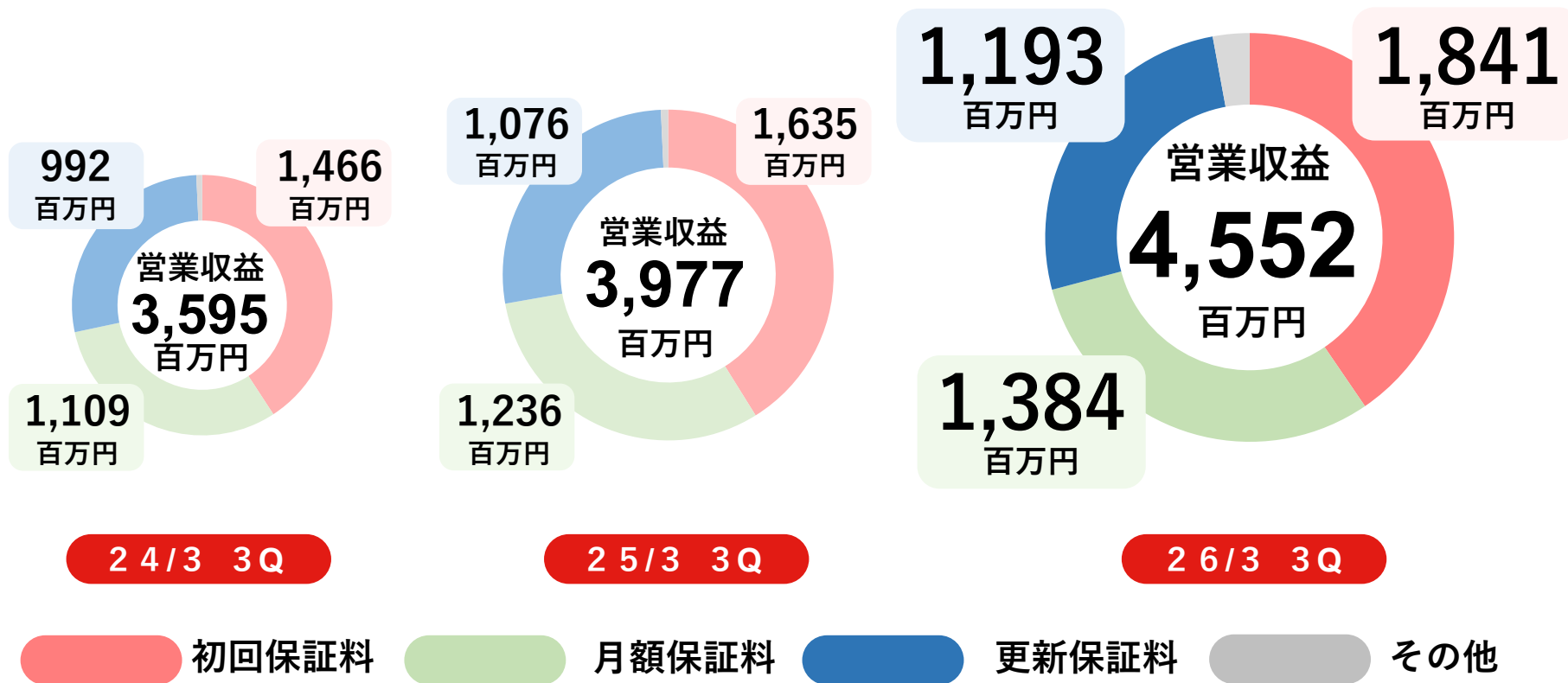
283

141.7%

169

2 各種指標 営業収益内訳


 営業収益を構成する保証料収入は堅調に増収



保証料発生イメージ

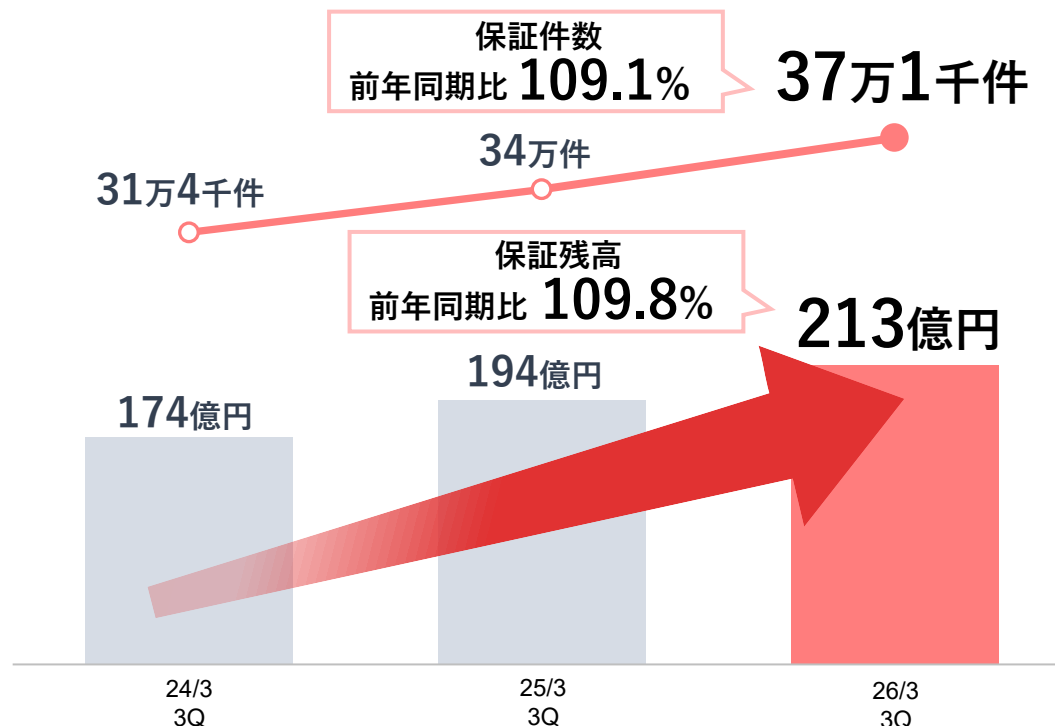


2 各種指標 営業関連主要KPI

 保証料収入の基盤となる保証件数、加盟店契約数はいずれも増加

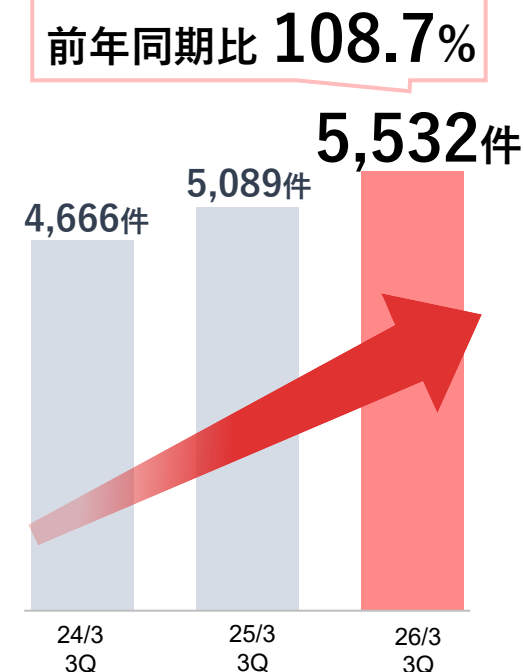
保証件数・保証残高

着実な新規契約に伴い保証件数、保証残高は引き続き増加。短期的な環境変化の影響を受けにくいストック型収益により安定した収益の積み上げと事業規模の拡大が進んでいます。



加盟店契約数

多様なクレジットカード会社との提携商品、提携サービスを活用して新規加盟店の開拓、既存加盟店へのフォロー強化を実施



2 各種指標 貸借対照表

(単位：百万円)	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	増減額
流動資産	10,742	12,496	1,753
(現金・預金)	946	823	▲122
(収納代行立替金)	8,028	9,681	1,653
(求償債権)	2,190	2,639	449
固定資産	1,305	1,406	100
資産合計	12,048	13,902	1,854
流動負債	9,570	11,310	1,739
(短期借入金)	600	750	150
(収納代行預り金)	5,518	6,738	1,220
(契約負債)	2,986	3,321	335
固定負債	5	0	▲5
(利益剰余金)	1,511	1,632	120
純資産合計	2,472	2,592	120
負債・純資産合計	12,048	13,902	1,854

2 各種指標 求償債権残高

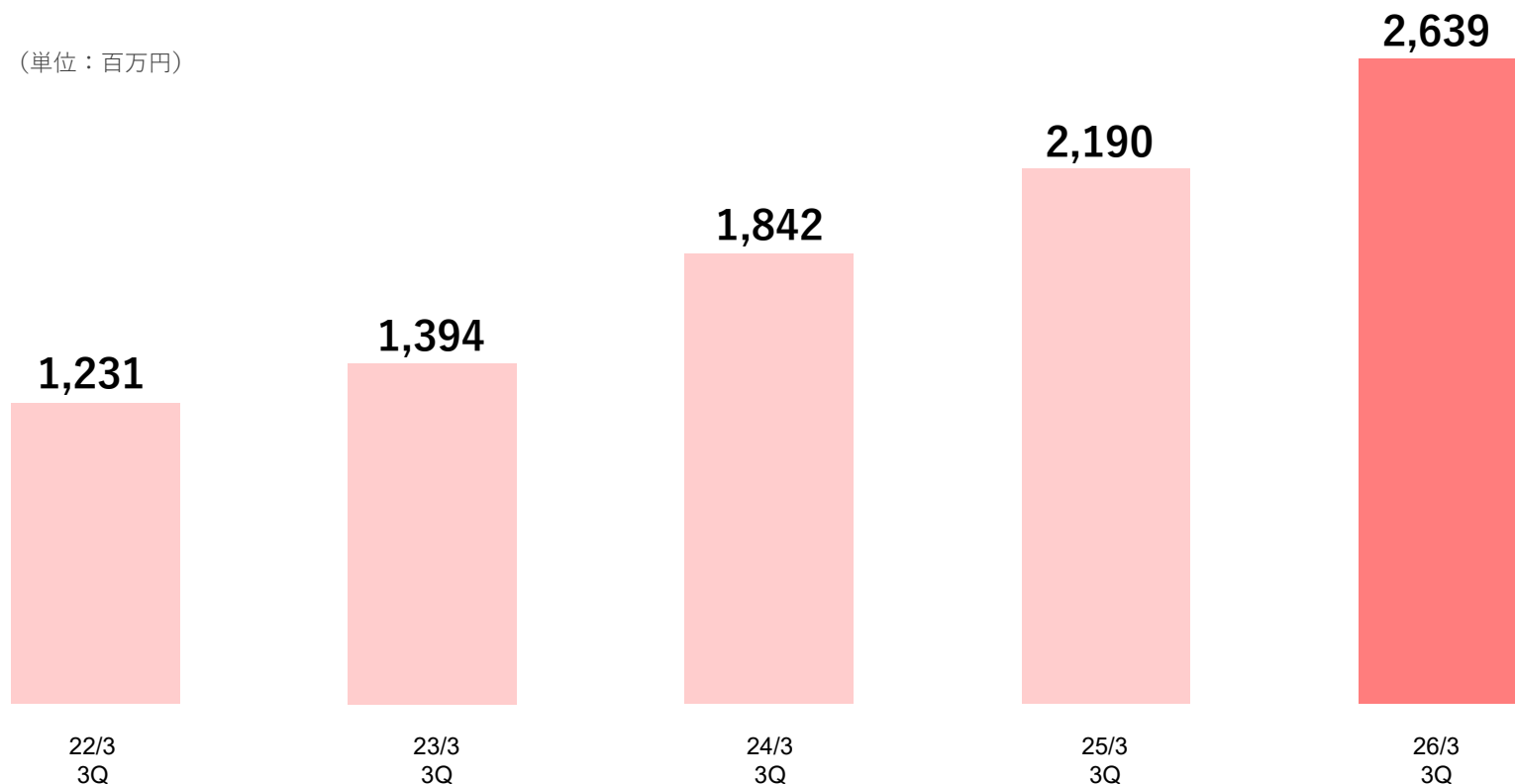


主に自社単独商品の増加に伴い求償債権残高が増加

※ 自社単独商品：1ヶ月目の滞納から求償債権残高に計上
クレジットカード提携商品：4ヶ月以降の滞納から求償債権残高に計上

求償債権残高

(単位：百万円)



3 “あんしん”の保証事業 事業の特色

1



充実した保証範囲

設立以来、保証範囲は
入居から、退去・明渡までの
フル保証を提供

2



あんしんの家賃先払い

家賃は引落日前に先払い
オーナー様には確実に家賃が
入金されます

3



申込条件無し

年齢、国籍といった
申込時の条件はありません

※事前にご本人確認の上、契約内容を
ご理解をいただいた方を対象としています

4



複合審査

JICC、CICの2つの信用情報機
関と独自スコアリングの複合
審査を行っています

5



豊富なラインナップ

複数のクレジットカード会社と
提携商品を展開

〈提携実績〉

- ・ライフカード株式会社
- ・株式会社アプラス
- ・イオンフィナンシャルサービス株式会社
- ・株式会社ビューカード
- ・東急カード株式会社

3 “あんしん”の保証事業 当期の取り組み



契約件数拡大に伴い売上原価、販管費の増加傾向が継続しており
コスト削減、回収力強化による利益の確保に取り組んでいます

債権管理面の取り組み

- ・ 回収人員体制の再編による回収力強化
- ・ 弁護士との連携強化による法的回収の円滑化



当期の取り組み

2026年3月期

収益向上に向けた取り組み

- ・ 持続的成長に向けたポートフォリオの改善
- ・ 提携サービスの拡大



コスト削減の取り組み

- ・ 業務システム見直しによる効率化、コスト削減



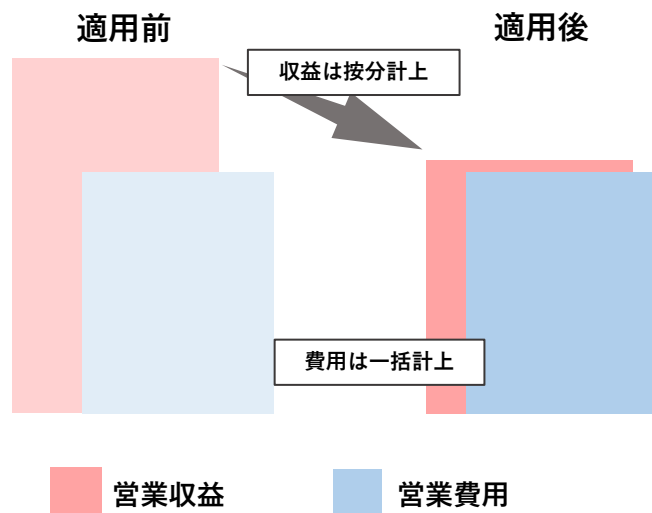
3 “あんしん”の保証事業 第4四半期の業績について



第4四半期（1～3月）に業績上の特徴はありますか？

あんしん保証では、収益認識に関する会計基準の適用により、利益構造が変化しています。第4四半期では、第1四半期同様に同会計基準の適用による影響を比較的受けやすいため、下記のように利益が出にくい構造となっています。

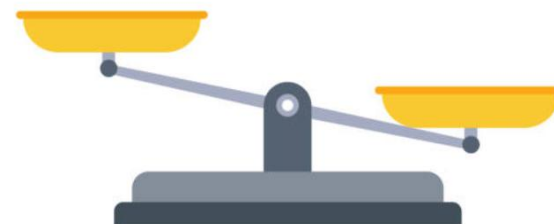
収益認識に関する会計基準の適用による
営業収益・営業費用の計上イメージ



第4四半期（1～3月）は新規保証件数が他の四半期より多いため、初回保証料に限ると

営業収益 < 営業費用
(初回保証料に限る) (初回保証料に関わる費用)

の構造が他の四半期より大きく表れます



3 “あんしん”の保証事業 財務指標（契約負債）



貸借対照表の契約負債とは何についての負債ですか？

あんしん保証では、契約期間に基づき初回保証料並びに更新保証料の未履行部分を契約負債として計上しています。2026年3月期第3四半期において増加がみられますが、これは保証契約数の増加によるものです。

契約負債は、契約の履行による収益の認識に伴い取り崩されます。

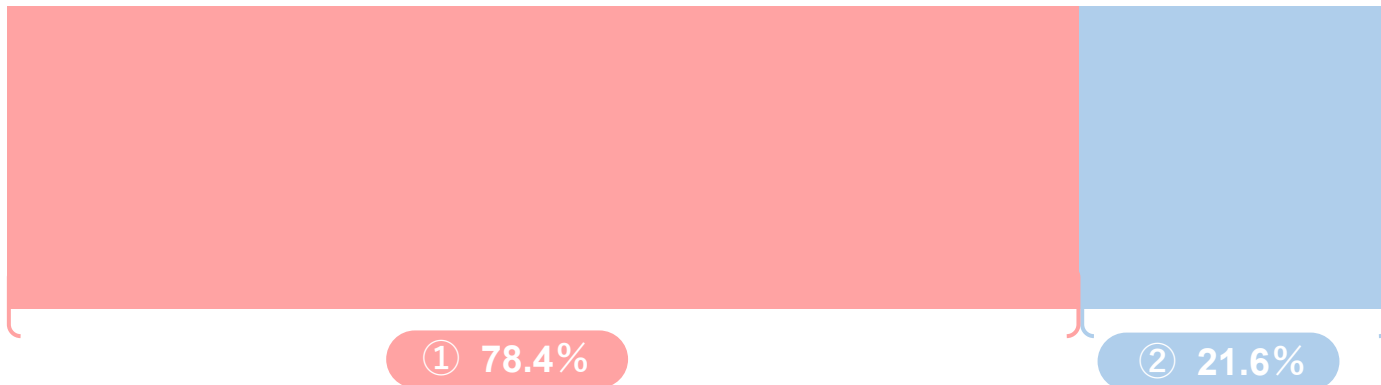
2026年3月期第3四半期計上の3,321百万円のうち

①

2,604百万円（78.4％）は、1年以内に収益の認識を見込んでいます。

②

717百万円（21.6％）は、2年以内に収益の認識を見込んでいます。



3 “あんしん”の保証事業 財務指標（収納代行立替金）

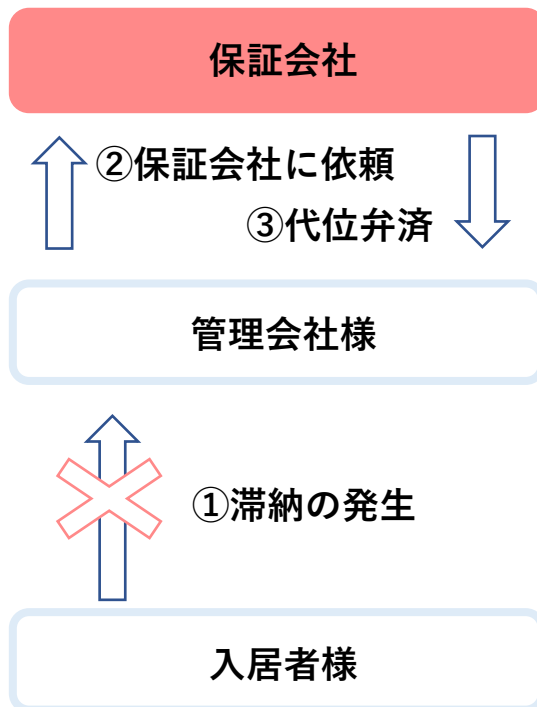


貸借対照表の収納代行立替金とは何を表していますか？

あんしん保証では、管理会社様に家賃を先払いする事前立替型保証商品を取り扱っています。収納代行業者様から入金前の立替家賃は収納代行立替金として、流動資産に計上しています。

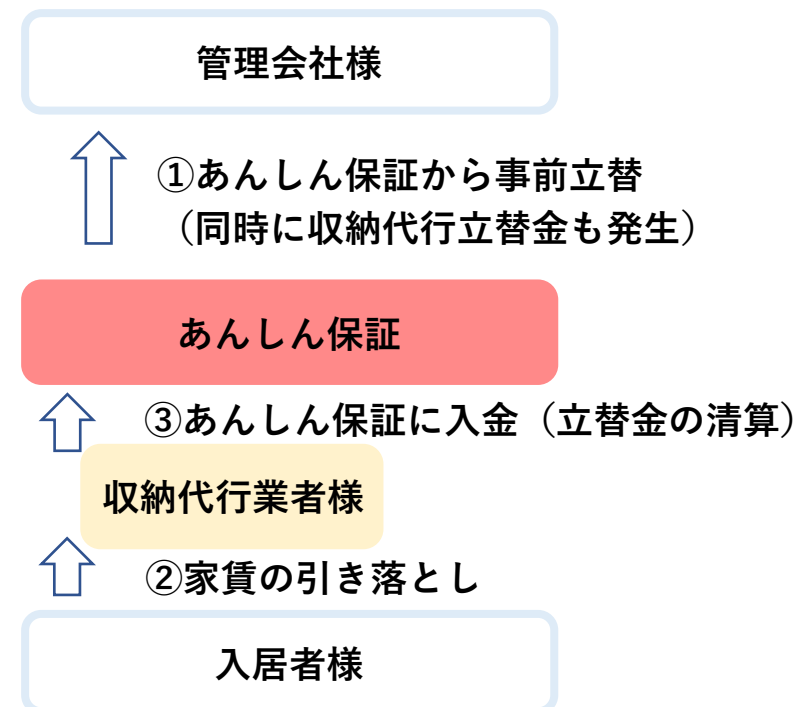
〈滞納報告型〉

※他社で一般的な保証商品



〈事前立替型〉

※あんしん保証で一般的な保証商品



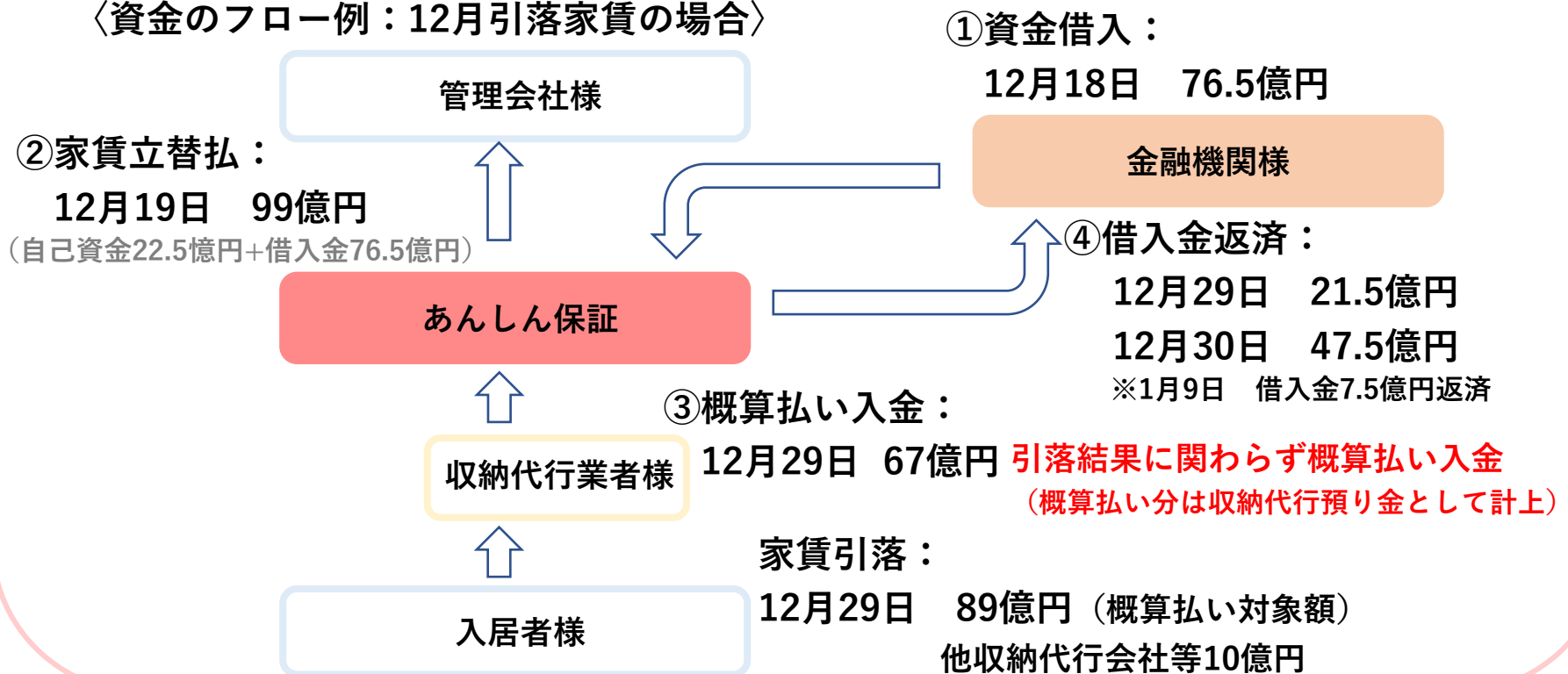
3 “あんしん”の保証事業 月次の資金フロー（借入）



資金の借入を行っていますが経営に影響はありますか？

あんしん保証では入居者様からの引落前に、管理会社様に家賃を先払いしています。先払いの資金は、自己資金と金融機関からの借入によって調達しています。借入金は、引落された家賃で返済されるため経営への影響は軽微です。2025年12月時点の調達コストは年利換算で1.683%です。

〈資金のフロー例：12月引落家賃の場合〉



4 あんしん保証の取り組み SDGs

重要課題

当社での取り組み

SDGs目標

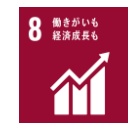
環境課題

- ・ペーパーレス化の推進
- ・契約手続のWEB化
- ・FSC森林認証用紙の採用（招集通知）
- ・森林保護活動支援への参加
- ・クールビズ・ウォームビズの採用
- ・営業活動での公共交通機関利用推進
- ・トナーカートリッジのリサイクル推進
- ・省電力への取り組み（OA機器の省エネ設定、LED電灯）




社会課題

- ・家賃債務保証事業の持続的拡大
- ・大規模災害時における支援プランの提供
- ・女性正社員採用の拡大
- ・女性リーダー教育の推進
- ・障がい者雇用
- ・従業員持株会
- ・短時間勤務制度の導入
- ・従業員満足度アンケートの実施
- ・災害備蓄品の購入
- ・定年再雇用制度の導入
- ・海外留学生の採用
- ・採用活動を通じた奨学金返済支援



4 あんしん保証の取り組み 社内環境の整備

 社内人材においてダイバーシティを推進するために、自律的なキャリア形成のサポートと持続的な組織づくりを行っています

人材関連データ

女性正社員比率	46.6%	性別に関わらず積極的な採用を実施。 女性の働きやすい環境づくりを進める。
---------	-------	---

役職者女性比率	21.4%	個人の意欲・能力を評価して登用。 将来的な役職者を対象に、積極的な研修を行う。
---------	-------	--

産休・育休取得率	100%	産休・育休取得社員の「“あんしん”して働きたい」 を支援する。
----------	------	------------------------------------

月平均残業時間	12時間	企業として長時間労働の抑制に取り組む。 現場からの業務効率化提案を推奨。
---------	------	---

平均有給取得日数	12日	取得しやすい社内環境づくりを推進。 ワークライフバランスを保ち働きがいのある企業へ。
----------	-----	---

離職率	11.0%	個別の成長計画を設定し、定期的な面談を実施。 自律的なキャリア形成をサポート。
-----	-------	--

(2025年3月期)

あんしん保証は、住まいのインフラとして
賃貸借契約に“あんしん”をお届けします

経営理念

人として社会に感謝し、地域社会の発展に挑む

企業ミッション

連帯保証人制度に代わる機関保証の普及の実現

決算説明資料に関する注意事項

- 本資料は、経営戦略等に関する情報提供を目的とし、当社の今後の見通しや計画等の記述がなされております。
- 現状で入手できる情報に基づき作成しておりますので、本資料で記述していることが経済状況等により、異なる結果に至る可能性を含んでおります。
- また、本資料で記載されている当社以外の情報は、公開されている内容から引用したものであり、その正確性について当社が保証するものではありません。